

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆協会けんぽ、24年度6586億円の黒字 パート主婦増や賃上げで

・中小企業の従業員や家族らが加入する全国健康保険協会(協会けんぽ)は2024年度の決算が6586億円の黒字になる見込みだと発表。08年の発足後で過去最高。企業の賃上げやパート主婦らの増加に連動して、保険料収入が伸びた。黒字は15年連続で、黒字幅は前年度から1923億円伸びた。準備金残高も5兆8662億円で最高となる。

◆子育て世帯「母親が仕事」8割超す 厚労省調査で過去最高

・厚生労働省が発表した2024年の国民生活基礎調査によると18歳未満の子どもがいる世帯のうち、母親が仕事をしていると回答した世帯の割合は80.9%に。前年から3.1ポイント上昇し、比較可能な2004年以降で最も高くなり、8割の大台に乗った。雇用形態別にみると、正規が34.1%、非正規は36.7%、その他が10.1%だった。

◆セーヌ川で100年ぶりに水浴び解禁 水質改善、パリ五輪遺産

・パリの中心部を流れるセーヌ川でおよそ100年ぶりに水浴びが解禁された。川の3カ所に設けた水浴び用の区域を一般市民に開放する。パリの夏の新たな風物詩となりそうだ。2024年のパリ五輪でトライアスロンなどの競技をセーヌ川で実施するために水質改善を進めた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆上期「人手不足倒産」最多202件 帝国データ、建設・物流で4割

・帝国データバンク(TDB)のまとめによると、2025年上期(1～6月)の人手不足に起因する企業倒産は前年同期比20件増の202件となり、2年連続で過去最多を更新。以前から深刻な人手不足が続いている業種で倒産が多発し、建設業が同1件増の54件で過去最多となり、物流業が同1件増の28件だった。

◆パナソニック、国内エアコン生産を5割自動化 2030年までに

・パナソニックホールディングス(HD)傘下のパナソニックは2030年までに、家庭用エアコンの国内工場で製造工程の5割を自動化する。現状は15%程度にとどまるが、ロボットなどを導入して省人化する。パナソニックHDは販管費削減のため、間接部門を中心に国内外で1万人前後の人員削減を掲げる。製造現場の生産性向上も急ぐ。

◆工場に太陽光パネル目標義務、ペロブスカイト普及へ性能・価格の壁

・企業の工場や店舗の屋根に置く太陽光パネルの導入目標策定が国内1万以上の事業者には義務化される。多くの工場は重いものを屋根に置く設計はされておらず、導入拡大へは屋根や壁面に設置しやすい軽量薄型の新型太陽電池「ペロブスカイト」が有力な選択肢となる。ただ性能や価格面など企業が導入を急拡大するには課題が山積する。

《 注目商品 》

■ノーリツ、ガスビルトインコンロ「PROGRE(プログレ)」をリニューアル

・高級価格帯のガスビルトインコンロ「PROGRE(プログレ)」をリニューアルし、8月1日より発売。キッチンアプリ「つなぐレシピ」を連動させることで自分好みの調理方法やレシピを蓄積することができ、日々の調理をサポート。



■リンナイ、「GRILLER(グリレ)」10年ぶりにモデルチェンジ

・重厚感のある鋳物五徳とガスならではの強火力が特長のビルトインガスコンロを10年ぶりにモデルチェンジ。鋳物五徳は直線的で堅牢なデザインに刷新し、3つの五徳が1つの大きな面となるように構成。点火つまみを従来品より6mm大きくし、操作性に配慮。



■組み合わせ自由、軽量コンパクトな置き畳

・軽量でコンパクトな縁なしのい草置き畳「湊川(みなとがわ)」を発売した。約65×65cm、重さは約750gと、従来の置き畳(82×82cm)よりも1回りコンパクト。好み・スペースにあわせて自由に組み合わせ、住まい手自身でカットすることもできる。

